



第 1723 回例会

平成 24 年 10 月 29 日(月)

12:30~ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」

3. 出席報告

会員総数 55 名 出席者数 35 名

出席率 63.64% 前回修正出席率 70.90%

4. 会長スピーチ



会長 花田 宗弘 君

みなさん、こんにちは。まず、指名委員会について、お諮りします。今年の年次総会は 12 月 3 日です。クラブ細則により、理事役員の選挙については選挙すべき年次総会の 1 カ月前の例会において、指名委員会を設置しなければならないことになっています。当クラブの慣例に従い理事会メンバーをもって指名委員会とさせて頂いてよろしいでしょうか。承認頂きありがとうございました。

次に本日は、当クラブに存在する同好会を紹介して頂く予定です。最近各クラブ共会員の減少が進んでいる中で当クラブは比較的安定しているのは同好会の活動がクラブの活性化に役立っていると思われますので、一層の活発な活動と充実を期待します。少なくとも各人一つのクラブに席を置いてもらう事を希望します。

先週末には地区大会があり、出席された皆さん。ご苦労さんでした。土曜日は中西幹事と私、日曜日は 11 人の参加がありました。土曜日の会議はスターゲイトホテルにて午後から、石井 RI 会長代理による RI 会長の方針「奉仕を通じて平和を」の説明と 2680 地区の国際プロジェクトの紹介。引き続き 2770 地区中村パストガバナーによるロータリー精神の話(超我の奉仕と職業奉仕)夜は RI 会長代理ご夫妻の歓迎晩餐会がありました。日曜日は泉北のビッグアイにて本会議第 2 部で北中ガバナーによる地区現況報告と RI 会長代理による RI の現況報告と記念講演。講演 1 は奈

良県立医大教授の「軟骨伝導聴覚の発見と携帯電話への応用」でした。講演 2 は㈱アオキの青木社長による小型人工衛星「まいど 1 号」の開発に関する話がありました。人工衛星を作りたくてやったのではなく、若者にもの造りの興味を持って東大阪に集まってきたもらうためにやったと云っておりました。面白い話だったので、機会を造って詳細を説明させて頂きたいと思います。

5. 幹事報告

幹事 中西 秀文 君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山北 R C 11 月 19 日(月)→11 月 19 日(月)
19:00~ 夜間例会
「味処 三八波」

○11 月のロータリーレート

1 \$ = 80 円

○10 月 20 日・21 日 ローターアクト交流会へ参加

6. 委員会報告

○ロータリー財団委員会 委員長 宮田 貞三 君
ロータリー財団の寄付のお願いです。一人 8,000 円を目指にしたいと思います。ご協力をお願いします。

7. 会員卓話 (クラブの同好会について)

○三笑会



宮田 敬之佑 君

三笑会の始まりは、4 代目会長と幹事のロータリ一年度が終わり、翌年、みんなが淋しいので、元理事に呼びかけて、始まりました。

開催日付は、理事会が第 2 水曜日なので、次の週の第 3 水曜日に。

みんなで第三週に開き、食事の後の二次会にカラオケで歌うので、三笑(唱)会と名付けました。当時のカラオケはメロディーだけで、歌詞本を見ながら歌って、練習しました。奥村さんなんかは、一番を歌って、二番目の歌詞が別の歌になっていたこともあります。

年一度、夫婦同伴で旅行も楽しんでいます。白浜や京都の貴船床料理に行ってきました。この会も 33 年間、毎月、休みなく続いているが、高齢化の為メンバーも少なくなっています。私はこの会も 33 年間、休まず出席しています。

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南省日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：花田 宗弘 幹事：中西 秀文 SAA：那須 正志

OKF会



奥村 匡敏 君

KF会は、ゴルフの同好会です。ゴルフ好きばかりの集りであり、宴会好きの集りです。KF会の名前のゆらいは、初め、貴志川ゴルフのメンバーの集まりで、年内第5日曜日に開催。貴志川のKと第5のファイブのFを取ってKF会と名づけました。現在メンバー

は25名です。年に第5日曜日が4回程ありますので、ゴルフ場も変えて開催しています。年会費として1万円、また、当日の参加費として3,000円。これは主に、ゴルフの後の場所を代えての宴会費、賞金、そして交通費に充当。K F会の特徴は毎会ゴルフの後に豪華な宴会を行うところにあり、お酒を飲みながらゴルフのうんちくを話し合う、大変、楽しい会であります。帰りのタクシ一代、代行代は会より支給しており、安心して帰っていただけます。40才を過ぎてからの成人病、即ちメタボリック、動脈硬化、高血圧、又、糖尿病からの成人病対策には、運動と食生活が一番大事です。40才を過ぎてからの運動にはゴルフが一番。

なんと云っても、年を取ってからも出来ますし、現に83歳を過ぎてられます岡田先生も毎回、元気に参加しています。緑いっぱいの広々としたフェアウェイに白いボールをおもいきり叩いて飛ばすストレス解消にはもってこいであり、緑の中でボールを追って自然と歩く運動が出来ます。汗をかいた後のビールのおいしさは格別であります。大変良い運動だと思いますので、ゴルフをされてみたい方はぜひ始めていただき、KF会へ入会していただきたいと思います。そして又ロータリーもより一層楽しくなるのではと思います。

○新品会



12年前ごろになりますか、当時、入会した会員の方が退会しそうになつたことから、楽しいロータリーの会として、退会防止を目的に新垣さんや西川さんなど、親睦委員会が中心となって、発足いたしました。2～3ヶ月に1回の食事会を楽しむことで、大体は和歌山の。二次会、三次会とお店で女の子と多くなっています。現在ではメンバ、7、8名で楽しんでいます。是非、ください。

○ゑびす会



り上げている恵比寿さん。

ゑびす会は、お目出たい恵比寿さんの名前を頂いています。ゑびす会のメンバーは、角谷さん、深谷さん、

上中さん、塩崎さん、木地さん、寺下さん、古川さん、大江さんと宮田です。メンバーは好きな釣りに出かける時は、会の名の通りニコニコ顔です。

会の創立に当たり柿本神社で海での事故にあわず
に好きな釣りが出来ますようにとお祓いをして頂きました。
おかげで今まで一度も事故にあわず、釣りを
楽しんできました。クラブの行事は、年1回の釣り大
会と12月の懇親会、ロータリーの例会日は日曜日の
釣りの釣果の情報交換会となっています。

以前は奄美大島までクエ釣りに出かけたこともあります。奄美の海では1m80cmの大物を、藤山さんが釣り上げています。あと3cm大きければ日本記録という大物でした。

今では紀州の海で釣りを楽しんでいます。昨年の5月、山野明さんから「もう一度だけ思う存分ガシラ釣りをしたい。ガシラ釣りが大好きなんだ」と言われたので二人で由良海へ出かけました。エサを入れるなりガシラが釣れ大漁でした。帰りに山野さんから「貞三さん今日は楽しかったヨ」と喜んでくれました。今となつては山野さんの笑顔が私の一番の思い出となっています。

良い仲間と好きな釣りに出かけ、釣りを通してよい思い出が出来るゑびす会です。釣り好きの方、ゑびす顔の方、どうかゑびす会へお入り下さい！

○サファリの会



は、とても良
さい。

○因暮同好会



皆さんもご存知の通り、囲碁は一生楽しめる奥の深い知的ゲームです。日本国内には、ロータリー囲碁同好会という全国組織があります。毎年東京か神戸で大会が催されています。更に国際大会も毎年日本、韓国、台湾が持ち回りで、開催されています。岡田先生も過去に参加されたことがあります。私も何年か前に一度、韓国大会に参加したのを覚えています。言葉は関係なく、共通のルールですので、自然に違和感なく楽しめます。

わがクラブの歴史を少し調べてみましたが、正式な同好会とはなっていなかったようです。従いまして、今から同好の友を募り、そこそこの人数が集まれば発足したいと思っています。少しでも囲碁に興味のある方、初心者大いに歓迎！一緒に楽しみましょう。

10月は職業奉仕月間です



元平和フェロー、ライアン・ロウさん。写真提供:
Anne-Marie Di Lullo/Tabasamu Education
Fund

いますが、みんなで力を合わせて知恵やリソースを出し合えば、大きな改善を図ることができると私は信じています」

カナダのモントリオールでの大学時代の経験から、ライアンさんは物事を明るい方向に考え、固い決意をもって取り組む大切さを学びました。大学を休学し、バスを乗り継いで中央アメリカを渡り、言語や文化の違いを経験、その後、コロンビアの交換留学プログラムに参加してスペイン語での授業を履修しました。このバスの旅で多くの人が貧困に苦しむ現実を目の当たりにしたライアンさんは、インフラ整備の欠如という根本的な問題があることに気づき、そこに改善の機会を見出しました。

そこで大学卒業後、ライアンさんはカナダのトロントにある大学院に進学して戦略マネジメントを専攻、その後ブラジルに留学し、ポルトガル語で履修しながら、中南米における水関連インフラ整備に投資する民間企業について研究しました。

幼いころ、ロータリアンの叔父や叔母から世界旅行や奉仕プロジェクトの話を聞いたライアンさん。そのころはまだ、ロータリーのことは何も知らなかったそうです。しかし、アラブ首長国連邦でインフラ開発の仕事に従事していた2009年、世界各地の優れた専門家と水問題について研究できるロータリー平和センターの存在を知りました。

「ノースカロライナ大学の公衆衛生プログラムは、ロータリーの誇るパートナーシップ」と話すライアンさん。「ロータリー平和センター・プログラムへの申請は、人生で最高の決断でした」

平和センターでの研究を終えたライアンさんは、今年6月、バックパックを背負ってアフリカに渡り、ザンビア、マラウイ、モザンビークを訪問、そこで世界保健機関（WHO）やユニセフが主催する会議で講演を行いました。今後は、自ら役員を務める教育支援NPO、「Tabasamu Education Fund」があるケニアを訪問する予定です。ライアンさんの最終的な目標は、インフラ開発を持続的に支援する基金を設立することです。この基金を通じて、社会的に不安定な地域の福祉保健を改善したいと心に描いています。また、ほかの平和フェローとこれからも協力していきたいと望んでいます。平和フェローは、みな仲間であるとライアンさん。「情熱があれば成功できると思います。道を開いてくれたロータリーに感謝しています」

ポリオ撲滅のための

「世界最大の CM」に出演しよう

「世界ポリオデー」の10月24日、ポリオ撲滅活動をサポートするために、大勢の支援者がオンライン広報キャンペーン「世界最大の CM」に参加します。

この参加型のオンライン広報イベントに、ぜひご参加ください。ビルゲイツ、デヴモンド・ツツ大司教、ジャッキーチェン、アンジェリーク・キジョー（歌手）など、多くの著名人が「あと少し（This Close）」のポーズを取って撲滅支援に加わっています。参加するには、ロータリーの特別ウェブサイトから、皆さまの「あと少し」のポーズ写真をアップロードしてください。アップロードされた写真は、自動的にポリオ撲滅のプロモーション・ビデオに挿入され、参加者には作品を閲覧できるページへのリンクが送られます。また、ポリオ撲滅活動を支援するためのミュージックアルバム「End Polio Now」がリリースされます。

このアルバムには、世界的バイオリニストのイツァーク・パールマンやロック音楽バンドのスタッフ・ベンド・ビリリといった、元ポリオ患者による演奏も収録されています。iTunesやshop.rotary.orgから注文してご購入いただけます。収益はポリオ・プラス・プログラムに充てられます。

「世界ポリオデー」の後も、ロータリーは、世界200カ国のロータリアンによる支援を通じて、ポリオ撲滅活動を継続していきます。世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI）では、7億ドルの資金不足が問題となっており、これを解消するために、世界各国の政府機関に協力を要請していく必要があります。

10月16日現在、2012年のポリオ感染数は180件を下回っていますが、資金不足のために、感染リスクの高い国々で予防接種活動が縮小される事態が発生しています。現在、ポリオ撲滅活動は、成功と失敗の分かれ目にきており、活動が失敗した場合、将来、毎年20万人の子どもが身体麻痺の障害を負うことになると言われています。「ポリオのない世界を実現するには、政府機関の協力が欠かせない」と、ロータリー財団のウィルフリッド・ウィルキンソン管理委員長は述べます。「ポリオ撲滅がこれほど間近に迫ったことは今までありませんでした。私たちは、世界の子どもたちへのポリオ撲滅の約束を破ることはできません」

ポリオ撲滅活動の支援方法

- ①「あと少し」のポーズ写真をアップロードして「世界最大の CM」に参加
- ②www.endpolionow.orgで署名し、世界のリーダーにアピール
- ③ロータリー創設記念日（2月23日）の「End Polio Now」ロゴ投射を計画
- ④ポリオ撲滅活動への寄付

そのほかのロータリー関連情報は、国際ロータリー公式ツイッター日本版をフォローしてご覧ください。